

避難生活支援リーダー／サポーター研修の開催について

近年、災害の多発や避難の長期化に伴う災害関連死の増加が懸念されていることから、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材育成を目的として、内閣府主催の「避難生活支援リーダー／サポーター研修」を群馬県と館林市の共催で実施します。

1. 日時・会場

(1) 令和7年2月8日(土) 10:00～16:00

会場：館林市立第一小学校（館林市代官町9-1）

(2) 令和7年2月9日(日) 10:00～16:00

会場：館林市立第一小学校（館林市代官町9-1）

2. 参加者

研修受講者 約50名（自主防災組織、防災士会、災害ボランティア団体、福祉関係者等）

関係団体 約40名（内閣府、館林市安全安心課、群馬県危機管理課等）

3. 内容

避難所設営演習、多様な被災者の心情や状況の理解に関するワークショップ等（別紙参照）

講師：辛嶋友香里氏（ピースボート災害支援センター/現地コーディネーター）

4. 参考

- 内閣府が募集した「避難生活支援リーダー／サポーター研修」のモデル事業に応募し、全国で採択を受けた5地区のうちの1地区として、実施するものです。
- 取材は全日程可能です。
- なお、館林市においては、館林記者クラブに報道提供済みです。

● 1日目 令和7年2月8日（土）

項目	プログラム概要
（１）開会等 10:00～10:30（30）	・開会挨拶 ・研修のオリエンテーション
（２）講義・演習１ 10:30～12:00（90）	○講義：多様な被災者の理解とその配慮 ・被災地・被災者への理解 ・災害時における要配慮者の立場例 ○演習：多様な被災者の理解とその配慮 ・被災者と支援者とのやりとり例を収録した動画を紹介し、紹介された被災者の心情や困りごとを話し合う ・グループで検討した内容を全体で発表・共有
12:00～13:00（60）	昼食・休憩
（３）講義・演習２ 13:00～15:40（160）	○講義：避難所の課題と生活環境の整備 ・避難所に必要なスペースとその機能 ・一日の流れ、活動内容、運営する上での留意点 ・運営に関わる担い手の理解 ○演習：避難所の課題と生活環境の整備 ・受付／情報コーナー／物資提供／食事スペース／寝床／洗濯物干しスペースそれぞれ避難所のスペースを再現 ・各スペースの巡回を行った上で、それぞれの「改善点」を話し合い、具体的な改善作業を行う ・各スペースの改善の発表と解説
（４）クロージング 15:40～16:00（20）	・受講者同士のふりかえり ・閉会挨拶

※記載時間は予定であり、当日の進行状況等により変更する可能性がある

● 2日目 令和7年2月9日（日）

項目	プログラム概要
(1) 講義・演習 1 10:00～12:00 (120)	○講義：対人コミュニケーション ・コミュニケーションの目的 ・コミュニケーションの工夫 等 ○演習：対人コミュニケーション ・「被災者役」「リーダー／サポーター役」「観察者役」の3つの役となり、コミュニケーションの仕方を体験する ・実施したごとに、実施しての感想を話し合う時間を設ける ・グループでの演習結果を全体で発表・共有
12:00～13:00 (60)	昼食・休憩
(2) 講義・演習 2 13:00～15:40 (160)	○運営の担い手との連携・協働の必要性 ・課題・困りごとを解決するためのポイント ・被災者との情報共有、参加できる場づくり ・「被災者と一緒に取り組めること」「被災者以外の運営の担い手と一緒に取組むこと」を話し合う ・グループで検討した内容を全体で発表・共有、解説
(3) クロージング 15:40～16:00 (20)	・修了証授与 ・受講者同士のふりかえり ・閉会挨拶

※記載時間は予定であり、当日の進行状況等により変更する可能性がある